

企画展 篠田桃紅芸術月間 | 2011 | 桃の栞

水と墨が織りなす詩 桃紅リトグラフ「green」

リトグラフは、水と油の反発を利用して刷る版画の一種です。篠田桃紅は1960年からこのリトグラフによる作品を制作し、これまでに1000点を超える作品を手掛けてきました。

桃紅はリトグラフでも、版となる石や金属板に筆を使ってかたちを描きます。そうして版の上に置かれたインクはゆっくりと乾いていきますが、乾くまでの間、インクは作者の意図とは関係なく、思いがけない動きを見せるといいます。しかし、桃紅はその様子を静かに見つめます。

「自分でかいたインクの動きを見守るのは、雲や鳥を眺めるように、のんびりできないが、版の上の水の動きは、半分は自然に任せたようなところがあるから、乾いた時に、美しい紋を

作ってくれるようにと、水に祈りながら見ている。『おもいのほかの』1985年 冬樹社

作品「green」は、淡いインクに含まれる水の繊細な動きがとても豊かに表れている作品です。

描いた時点からすでに自らの手を離れ、また水墨制作にはない刷りの工程を経ることで、さらに意外なたちとなつて戻ってくる自らの作品との出会いを、桃紅はこのリトグラフの制作で楽しんでいきます。

今回の企画展では、水墨作品とともにリトグラフ作品を展示しています。桃紅にとつて創造の領域を広げてくれる大切な表現のひとつであるリトグラフ。その魅力を紹介します。



図版掲載「green」
1993年リトグラフ

【関連イベント】

◆学芸員による解説会

▷日時 2月12日(土)、3月12日(土)
午後1時30分～[約40分]
▷場所 篠田桃紅美術空間・展示室
▷参加費 無料

◆版画ワークショップ「オモシロ版画にちょうせん！」

▷日時 3月5日(土) 午後1時～4時
▷場所 わかくさ・プラザ
「学習情報館2階・創作実習室」
▷対象 小学生以上
▷定員 20人
▷参加費 1,000円
▷申込方法 2月1日(火)～25日(金)にファクスまたは電子メールにて、住所、氏名、郵便番号、電話番号をご記入のうえ申し込みください。
FAX23-7787 E-mail:seki-toko@city.seki.gifu.jp

- 企画展会期…3月27日(日)まで
- 入館料…高校生以上 300円、中学生以下無料
- 休館日…月曜日(休日を除く)、
休日の翌日(土・日・休日を除く)
- 開館時間…午前9時～午後4時30分
- 照会先…篠田桃紅美術空間(市役所7階)
☎23-7756

ひとひと
女と男

ともに自分らしく生きよう vol.77

仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について
今一度考えてみましょう

男女共同参画社会

内閣府の『仕事と生活の調和に関する意識調査』の一部を紹介します。

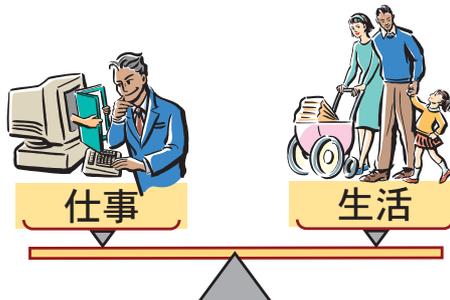
「生活の中での仕事、家庭生活、地域・個人の生活の優先度」について、仕事が2.0%、家庭生活が18.5%、仕事と家庭生活が24.7%、仕事・家庭生活・地域個人の生活が30.7%といった結果が出ており、これらが心の中に潜む「希望」としての数値になります。しかし現実的には、仕事が48.6%、家庭生活が19.3%、仕事と家庭生活が11.5%、仕事・家庭生活・地域個人の生活が2.3%となっているのが調査結果として出ています。「生活の優先度」には、理想と現実の間に、このような大きなギャップがあります。

また、「ワーク・ライフ・バランスが実現された社会」に近づくためには、企業の取り組み方、職場内の意識、個人の仕事のやり方、国の制度の問題などいろいろな課題はありますが、「日ごろ、ワーク・ライフ・バランスのために努力をしているか」では、「努力している」が19.0%、「どちらともいえない」が37.3%、「努力していない」が43.8%となっています。このように、自分なりに努力している人が約2割という、非常に低い数値になっています。

企業の支援、制度の改革・整備は、当然必要ですが、個人が日ごろ身近なところでできること、例えば、自分の趣味の時間をとる、効率よく仕事をする、仕事の段取りを工夫するなどひとつずつ実行していくことも必要と考えます。

このようなことを考えながら自分の意識はどうか、今一度、整理整頓してみたいかがでしょうか。

さんかくサポーター<J>



<照会先> さんかくサポーター事務局 (まちづくり推進課内) ☎23-6831